

科目名 (Subject)	法学総合研究A General Rssearches on Law A		
単位数 (Credits)	2 単位	開講時期	通 年
担当教員名 (Name)	橋本 伸 Shin Hashimoto	研究室番号 (Office)	1号館508
Office Hours	適宜。ただし、事前にメールで連絡すること。		
<p>1. 授業目的・方法 (Course objective and method) 現代法学における様々な問題を取り上げ、研究することによって、法学の知見を高める。</p> <p>2. 授業内容 (Course contents) 法制研究会（原則として月に1回、水曜日の午後に開催する）において、報告を踏まえ、大学院生と企業 法学コースの教員が共に議論することによって、法学の総合的な理解を深める。履修者は、法制研究会において、少なくとも1回は報告しなければならない。</p> <p>3. 使用教材 (Teaching materials) 履修者は、法制研究会の開催通知に示された参考文献を調べるなど、十分に予習した上で、同研究会に参加しなければならない。</p> <p>4. 成績評価の方法 (Grading) 法制研究会への参加：50%、同研究会における報告：50%</p> <p>5. 成績評価の基準 (Grading Criteria) <ul style="list-style-type: none"> ・秀 (100～90)：研究会で取り上げた様々な問題について秀でた理解力を示し、これを応用して現代法学における諸問題について秀でた分析をすることができる。 ・優 (89～80)：研究会で取り上げた様々な問題について優れた理解力を示し、これを応用して現代法学における諸問題について優れた分析をすることができる。 ・良 (79～70)：研究会で取り上げた様々な問題について良い理解力を示し、これを応用して現代法学における諸問題について良い分析をすることができる。 ・可 (69～60)：研究会で取り上げた様々な問題について理解力を示し、これを応用して現代法学における諸問題について分析をすることができる。 ・不可 (59～0)：研究会で取り上げた様々な問題について十分な理解力を示さず、これを応用して現代法学における諸問題について十分な分析をすることができない。 </p> <p>6. 履修上の注意事項 (Remarks) 法制研究会に参加できることが、履修の条件である。</p>			